

口頭発表 7月13日(土)

Oral Presentation Saturday, 13th July

A会場(6Fホール) 9:30~12:15

Main Hall 9:30 - 12:15

生態・社会・行動1

座長 杉浦秀樹(京都大・野生動物)

- 9:30 A01 ニホンザルにおける他群個体との距離に応じた行動変化：接近および回避について
半沢真帆¹, 栗原洋介², 兼子明久³, 夏目尊好³, 愛洲星太郎³, 伊藤毅³, 本田剛章³, 半谷吾郎³(1. 京都大・理, 2. 静岡大・農, 3. 京都大・霊長研)
- 9:45 A02 嵐山ニホンザル集団におけるアカンボウから超高齢個体まで全個体の社会関係
石川大輝¹, 山田一憲¹, 中道正之¹(1. 大阪大・人間科学)
- 10:00 A03 ニホンザルの交尾期におけるオスの性的威圧への対抗戦略：休息時のメスの凝集性に着目して
山口飛翔¹(1. 京都大・理)
- 10:15 A04 野生ニホンザルにおいて瞬き頻度は毛づくろいへの集中力の指標になるか
疋田研一郎¹(1. 京都大・理)
- 10:30 A05 ニホンザルにおける社会的遊びの終了時のコミュニケーションについて—取っ組み合い遊びの事例より—
清家多慧¹(1. 京都大・理)

生態・社会・行動2

座長 森村成樹(京都大・野生動物)

- 10:45 A06 ベニガオザルのオスの交尾音声の機能
豊田有¹, 丸橋珠樹², Malaivijitnond Suchinda^{3,4}, 香田啓貴⁵(1. 中部大・創発学術院, 2. 武蔵大, 3. タイ王立チュラロンコン大, 4. タイ王立霊長類研究センター, 5. 京都大・霊長研)
- 11:00 A07 野生マンドリルにおける活動性の日周・季節変化：直接観察と自動撮影カメラ法の統合による検討
本郷峻¹, 中島啓裕², アコモーオクエ・エチエンヌ³, ミンドンガーングレ・フレッド³(1. 京都大・アフリカセンター, 2. 日本大・生物資源科学, 3. IRET-CENAREST, Gabon)

- 11:15 A08 出自集団から移出するボノボメスの行動パターンと性ホルモン分泌の至近的变化
戸田和弥¹, 毛利恵子¹, 古市剛史¹(1. Primate Research Institute, Kyoto University)
- 11:30 A09 ワンバの野生ボノボにおける死体に対する反応
横山拓真¹, 安本暁², 古市剛史¹(1. 京都大・霊長研, 2. 京都大・アジア・アフリカ研)
- 11:45 A10 出自集団で初産を迎えた野生チンパンジーのメス2個体に関する事例報告
松本卓也^{1,2}, 花村俊吉³, 郡山尚紀⁴, 早川卓志⁵, 井上英治⁶(1. 総合地球環境学研究所, 2. 日本学術振興会特別研究員 PD, 3. 京都大・アフリカ地域研究資料センター, 4. 酪農学園大・獣医学群, 5. 北海道大・地球環境, 6. 東邦大・理)
- 12:00 A11 Pan 属二種におけるオスの隣接集団間の遺伝的分化の比較
石塚真太郎¹, 竹元博幸¹, 坂巻哲也¹, 徳山奈帆子², 戸田和弥¹, 橋本千絵¹, 古市剛史¹(1. 京都大・霊長研, 2. 総研大)

口頭発表 7月14日(日)

Oral Presentation Sunday, 14th July

A会場(6Fホール) 9:15~12:00

Main Hall 9:15 - 12:00

生態・社会・行動3

座長 山本真也(京都大・高等研)

- 9:15 A12 マハレのチンパンジーによるナツメヤシ利用
島田将喜¹(1. 帝京科学大・生命環境)
- 9:30 A13 チンパンジーのメス同士の「挨拶」
中村美知夫¹(1. 京都大・理)
- 9:45 A14 ヒト亜科の地域個体群内の集団間関係の変異について
古市剛史¹(1. 京都大・霊長研)
- 10:00 A15 鼻は歯より強し：大きいテングザルは小さい犬歯をもつ
松田一希^{1,2,3}, Tuuga Augustine⁴, Goossens Benoit^{4,5}, Nathan Sen⁴, Stark Danica J.⁵, Ramirez Diana A. R.⁴, van Schaik Carel⁶, 香田啓貴⁷(1. 中部大・創発学術院, 2. 京都大・野生動物, 3. 日本モンキーセンター, 4. サバ州野生動物局, 5. カーデフ大, 6. チューリッヒ大, 7. 京都大・霊長研)
- 10:15 A16 ニホンザルにおいて観察された社会的慣習の世代を超えた頻度の変遷
中川尚史¹, 疋田研一郎¹(1. 京都大・理)
- 10:30 A17 ジャワフルトン (*Trachypithecus auratus*) 新生児の体色が個体間交渉に与える影響
辻大和¹, プルノモ・スゲン^{T2}, ウィダヤティ・カンティ^{A2}(1. 京都大・霊長研, 2. ボゴール農科大学)
- 10:45 A18 スリランカのトクモンキーにおけるアレンの法則の検証：尾長変化は環境適応か、種分化過程か
ハフマン・マイケル^{A1}, クマラ・ラビンドラ², 川本芳³, ジャヤウィーラ・プラサード², パールディ・マッシモ⁴, ナハラゲ・チャーマリ²(1. Primate Research Institute, Kyoto University, 2. University of Sri Jayewardenepura, Colombo, Sri Lanka, 3. Nippon Veterinary and Life Science University, Tokyo, Japan, 4. Randolph-Macon College, Ashland, USA)

- 11:00 A19 自動撮影装置を用いたニホンザル個体数カウント法の検討
 森光由樹¹(1. 兵庫県立大・自然・環境科学研究所 /森林動物研究センター)
- 11:15 A20 東京都奥多摩町におけるニホンザル管理（奥多摩方式）
 白井啓¹, 邑上亮真¹, 杉浦義文^{1,2}(1. Wildlife Management Office, Inc., 2. Nature Conservation Division, Chiba Prefecture)
- 11:30 A21 性特異的遺伝標識による房総半島の外来種に関する見直し
 川本芳¹, 直井洋司², 萩原光², 白鳥大佑², 池田文隆², 相澤敬吾², 白井啓³, 田中洋之⁴ (1. 日獣生科大・獣医, 2. 房総自然博, 3. 野生動物保護管理事務所, 4. 京都大・霊長研)
- 11:45 A22 淡路島餌付けニホンザル集団における合成プロゲステロン投与による避妊処置
 山田一憲¹, 中道正之¹, 清水慶子², 草村弘子³, 延原久美⁴, 延原利和⁴(1. 大阪大・人間科学, 2. 岡山理大・動物, 3. 東京慈恵医大・基盤研, 4. 淡路島モンキーセンター)

口頭発表 7月13日(土)

Oral Presentation Saturday, 13th July

B会場(5F 大広間) 9:30~12:00

Large Japanese Style Room 9:30-12:00

形態・系統1

座長 西村剛(京都大・霊長研)

- 9:30 B01 二足歩行時の前額面における体幹姿勢調節: ヒト、シロテテナガザル、ニホンザルの比較
木下勇貴¹, 後藤遼佑², 中野良彦², 平崎鋭矢¹(1. 京都大・霊長研, 2. 大阪大・人間科学)
- 9:45 B02 ニホンザル脊髄神経後枝の観察—分節による後肢走行形態の変化—
布施裕子^{1,2}, 時田幸之輔³, 小島龍平³, 平崎鋭矢⁴(1. 埼玉医大・医, 2. 医療法人敬愛会リハビリテーション
天草病院リハビリテーション部, 3. 埼玉医大・保, 4. 京都大・霊長研)
- 10:00 B03 アジアのマカク属下顎第三臼歯における種群間変異
浅見真生¹, 高井正成¹, 張穎奇², 金昌柱²(1. 京都大・霊長研, 2. 中国科学院古脊椎動物・古人類研究所)
- 10:15 B04 ハズバンドリートレーニングによるオランウータンの口腔内診査法の開発
中村千晶^{1,2,3,4}, 李泳齊⁵, 森村成樹⁶(1. 日本歯大・生命歯学・病理学講座, 2. 東京医大・人体構造学分野, 3.
日本オランウータン・リサーチセンター, 4. チアキデンタルクリニック, 5. 札幌市円山動物園, 6. 京都大・
野生動物)

認知・発達1

座長 狩野文浩(京都大・高等研)

- 10:30 B05 動物園で暮らすマカクを対象としたポータブル式タッチモニタ装置による比較認知研究
村松明穂¹, マーティン・クリストファー², 松沢哲郎¹(1. 京都大・高等研, 2. インディアナポリス動物園)
- 10:45 B06 他者の痛みに対するチンパンジー・ボノボの生理反応
佐藤侑太郎¹, 狩野文浩², 平田聡¹(1. Wildlife Research Center, Kyoto University, 2. Institute for Advanced
Study, Kyoto University)
- 11:00 B07 How do chimpanzees and children perceive other species: use of embodied and visual experience
Gao Jie^{1,2}, 友永雅己¹(1. Primate Research Institute, Kyoto University, 2. Japan Society for the Promotion of
Science)

- 11:15 B08 Effects of Food Fracture Toughness on Chewing Efficiency in Yakushima Japanese Macaques
Tianmeng He¹, Wanyi Lee¹, Goro Hanya¹ (1. Primate Research Institute, Kyoto University)
- 11:30 B09 Functional divergence of bitter taste receptor TAS2R38 in Sulawesi Macaques
Xiaochan Yan¹, Kanthi Arum Widayati², Nami Suzuki-Hashido³, Fahri Bajebur⁴, Akihiro Itoigawa¹, Laurentia Henrieta Permita Sari Purba², Bambang Suryobroto², Yohey Terai⁵, Hiroo Imai¹ (1. Primate Research Institute, Kyoto University, 2. Department of Biology, Bogor Agricultural University, Bogor, Indonesia, 3. Academy of Emerging Sciences, Chubu University, Kasugai, Japan, 4. Department of Biology, Tadulako University, Palu, Indonesia, 5. Department of Evolutionary Studies of Biosystems, The Graduate University for Advanced Studies, Hayama, Japan)
- 11:45 B10 Linking social interactions with parasitism in complete and incomplete networks
Zhihong Xu¹, Andrew MacIntosh¹, Julie Duboscq² (1. Primate Research Institute, Kyoto University, 2. CNRS-MNHN-Paris Diderot)

口頭発表 7月14日(日)

Oral Presentation Sunday, 14th July

B会場(5F 大広間) 9:15~12:00

Large Japanese Style Room 9:15-12:00

形態・系統2

座長 中野良彦(大阪大・人間科学)

- 9:15 B11 数種霊長類における腹鋸筋・肩甲挙筋・菱形筋の比較解剖学
緑川沙織¹, 時田幸之輔¹, 小島龍平¹, 平崎鋭矢²(1. 埼玉医大・保, 2. 京都大・霊長研)
- 9:30 B12 テナガザルの発声メカニズムに関する実験的研究
西村剛¹, 後藤遼佑², ヘルプスト・クリスチャン³, 中野良彦²(1. 京都大・霊長研, 2. 大阪大・人間科学, 3. ウィーン大・認知生物)
- 9:45 B13 ミャンマー中部テビンガン地域の後期中新世初頭の化石ホミノイド相について
高井正成¹, タウン・タイ², ジン・マウン・マウン・テイン³, 楠橋直⁴, 河野礼子⁵, 江木直子¹, 浅見真生¹(1. 京都大・霊長研, 2. ヤンゴン大, 3. マグウェー大, 4. 愛媛大, 5. 慶応大)

認知・発達2

座長 山梨裕美(京都市動物園)

- 10:00 B14 ウマとチンパンジーにおける視覚的概念形成の比較
友永雅己¹, 熊崎清則², Feng Shanshan³, Koopman Sarah⁴, Ryckewaert Barbara⁵, Pereira Carlos⁶, 松沢哲郎⁷(1. 京都大・霊長研, 2. ホースマンかかみが原, 3. Sun Yat-sen University, 4. University of Rochester, 5. L'institut du Cheval et de l'Equitation Portugaise, 6. Universite Paris III Sorbonne Nouvelle, 7. 京都大・高等研究院)
- 10:15 B15 類人猿の心の理論: ゴーグルテスト
狩野文浩¹(1. 京都大・熊本サルクチュアリ)
- 10:30 B16 アカンボウチンパンジーの成長に伴うタワー利用の変化
堀田里佳¹, 羽深久夫¹(1. Sapporo city university Graduate school of design)

遺伝・生理・環境2

座長 村山美穂(京都大・野生動物)

- 10:45 B17 テナガザル3属の新規ゲノム配列決定とテナガザル科の大規模構造変化・核型進化解析
郷康広^{1,2,3}, 辰本将司¹, 石川裕恵¹, 平井啓久⁴(1. 自然科学研究機構・生命創成探究センター, 2. 生理研・

認知行動発達機構研究分野, 3. 総研大・生命科学研究科, 4. 京都大・霊長研)

11:00 B18 マカカ属の寛容性における遺伝的基盤の解析

井上英治¹, 元廣歩美¹, 村山美穂² (1. 東邦大・理, 2. 京都大・野生動物)

11:15 B19 霊長類絶滅危惧種における寄生虫群集構造の改変

マッキントッシュ・アンドリュース¹, フリアス・リエスベス^{1,2} (1. 京都大・霊長研, 2. Danau Girang Field Centre)

11:30 B20 飼育下チンパンジーにおける腸内細菌叢の多様性

早川卓志^{1,2}, 平田聡³ (1. 北海道大・地球環境, 2. 日本モンキーセンター, 3. 京都大・野生動物)

11:45 B21 屋久島のニホンザルの腸内細菌の発酵能力: 上部域と海岸部の比較

半谷吾郎¹, Tackmann Janko³, 澤田晶子⁴, Pokharel Sanjeeta Sharma⁶, Valdevino Gisele de Castro Maciel⁵, 大塚亮真¹, 黒木康太¹, 峠明杜¹, 馬淵諒真¹, Liu Jie¹, 畠山剛臣^{3,7}, 山崎美紗子³, 山崎絵理³, 伊津野彩子^{3,8}, Christian von Mering³, 清水-稲継理恵³, 早川卓志², 清水健太郎³, 牛田一成⁴ (1. 京都大, 2. 北海道大, 3. University of Zurich, 4. 中部大, 5. Amazon National Institute of Research, 6. Indian Institute of Science, 7. Functional Genomics Center Zurich, 8. 森林総合研究所)